

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

| | | | | | | | |
|---------|--|-------------------|-----------|------|--|------|------------------|
| 事務事業名 | | 下水道汚水施設維持管理事業（管渠） | | | <input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展 | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 4 | 生活環境の健全 | 所属部 | 水道局 | 課長名 | 坂田 寛之 |
| | 施策 | 17 | 水の保全・安定供給 | 所属課 | 下水道課 | 担当者名 | 加藤 大蔵、上山 辰右、久川 輝 |
| | 業務分野 | 60 | 排水の浄化 | 所属班 | 下水道班 | (内線) | 5283 |
| 予算科目 | 会計企業 | 款 | 項 | 目 | 事業連番 | 法令根拠 | 下水道法 合志市下水道条例 |
| 終了、開始年度 | <input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始 | | | 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 18 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ 年度） | | |

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

| | |
|---|---|
| 【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む) | 市民の生活環境の改善を図り、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的とする下水道施設の管渠・マンホール等の適正な維持・管理を行う事業である。 具体的には、汚水マンホールの改善・改良業務、下水道管渠の詰まりの解消（清掃）業務、新築・改築に伴う各家庭等の排水設備整備業務、下水道台帳システムの整備などを行う事業である。 |
| 【業務の流れ】 | <p>【マンホール蓋の購入】①単価契約のための見積り依頼、②業者決定・単価契約、③必要数の発注、④納品・保管、⑤支払い、⑥改良工事などに伴う打ち合わせ、⑦材料支給、⑧工事完了箇所の確認（マンホール改良工事）①マンホール改良必要箇所の確認、②現地調査、施工方法の検討、③測量設計、④実施設計書の作成、⑤工事請負契約事務、⑥改良工事、⑦竣工検査、⑧支払い事務</p> <p>【※国・県・市道の整備、舗装打ち替えに併せて、老朽化したマンホール蓋の更新も実施している。その場合は、マンホール蓋・受枠等の材料支給のみ行う場合もある。】</p> <p>【排水設備整備】①計画確認申請の受理 ②計画に対する指示及び指導 ③必要に応じ道路管理者との協議（占用・施工承認など）④排水設備工事完了に伴う検査 ⑤使用開始届の回付事務 ⑥排水設備工事責任技術者の登録及び管理事務（H23まで）⑦排水設備指定工事店の指定、指導及び助言、処分に關する事務 ⑧特定施設及び除雪施設に關する事務 ⑨本事業に必要な予算の計上事務</p> <p>【台帳システム整備】市民・業者からの下水道施設(管渠、公共汚水等)に關する問い合わせ(閲覧要望)に対し施設の概要を回答。前年度に施工した工事の竣工図及び民間開発行為等で整備された下水道施設の完成図を下水道台帳システムへ情報の入力。排水設備については、各世帯情報及び配管図を台帳システムに取り込む。</p> |
| 【主な予算費目】 | 材料費、修繕費、委託料、工事請負費、保険料 |

(1)事務事業の振り返り・計画

① 6年度事務事業の成果・実績

下水道マンホール蓋を購入した
 下水道マンホール改良工事（マンホール蓋・受枠等の材料支給も含む）を行った
 下水道管渠の清掃、排水設備整備業務を行った
 下水道台帳整備業務を行った

② 7年度計画（次年度に計画している主な内容）

下水道マンホール蓋の購入
 下水道マンホール改良工事（マンホール蓋・受枠等の材料支給も含む）
 下水道管渠の清掃、排水設備整備業務、下水道台帳整備業務

③ 予算の主な増減の理由

マンホール蓋関係購入に係る材料費の増

成果指標

ア 不具合・トラブルの対応率

{単位}

%

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

| 成果指標 | 単位 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 |
|----------|---------|--------|--------|----------|--------|----------|--------|--------|--------|
| | | 実績(決算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | 予定 | 見込 | 見込 |
| 成果指標 | ア % | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | 都道府県支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | 地方債 | 千円 | | | | | | | |
| | その他 | 千円 | 25,265 | 27,832 | 34,730 | 28,314 | 35,990 | 16,403 | 16,403 |
| | 繰入金 | 千円 | | | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | | | | | | | |
| (A) 事業費計 | 千円 | 25,265 | 27,832 | 34,730 | 28,314 | 35,990 | 16,403 | 16,403 | 16,403 |

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

緊急を要する修繕等、急な故障にも適切に対応でき、施設の機能が保持され、支障無く稼働できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）